



平成 18 年 11 月 15 日

各 位

会社名 櫻 護 謨 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 中村 浩士
(コード番号 5 1 8 9 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役総務・資材担当兼総務部長
中野 伍朗
(TEL 03-3466-2171)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失が発生するため、その概要をお知らせしますとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 29 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の中間業績予想及び平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成 19 年 3 月期中間期において、特別損失として「役員退職慰労引当金繰入額」129 百万円を計上いたします。

役員退職慰労金について、従来、支出時の費用として処理しておりましたが、当中間期より内規を基礎として算定された支給見積額のうち当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上する方法に変更いたしました。この変更は、近年の役員退職慰労金の引当金計上が会計慣行として定着しつつあることを踏まえ、当社においても将来の支出時における一時的負担の増大を避け、役員の内任期間にわたって費用配分することにより、財務内容の健全化及び期間損益の適正化を図るために行うものであります。この変更に伴い、過年度相当額を特別損失として計上することとなりました。

2. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 18 年 5 月 29 日発表)	3,512	150	83
今回修正予想(B)	3,555	282	104
増減額(B-A)	43	132	21
増減率(%)	1.2%	88.0%	25.3%
前期(平成 18 年 3 月中間期)実績	3,680	142	74

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月29日発表)	3,337	132	73
今回修正予想(B)	3,378	269	99
増減額(B-A)	41	137	26
増減率(%)	1.2%	103.8%	35.6%
前期(平成18年3月中間期)実績	3,506	125	67

3. 平成19年3月期通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月29日発表)	7,016	286	157
今回修正予想(B)	7,210	390	160
増減額(B-A)	194	104	3
増減率(%)	2.8%	36.4%	1.9%
前期(平成18年3月期)実績	7,799	403	229

(2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月29日発表)	6,666	250	137
今回修正予想(B)	6,860	370	150
増減額(B-A)	194	120	13
増減率(%)	2.9%	48.0%	9.5%
前期(平成18年3月期)実績	7,448	359	207

4. 修正の理由

当中間期の売上高は、製造事業において、航空・宇宙部門の民間航空機及びロケット用部品と官有機用の補用品、工業用品・その他部門の発電機用部品等が当初見込みを上回りました。

利益面では、航空・宇宙部門及び工業用品・その他部門の生産増により製造固定費が吸収された事により経常利益、中間純利益及び当期純利益ともに予想を上回る見込みとなりました。また、当中間期において、投資有価証券売却益63百万円を特別利益に計上し、上記お知らせのとおり役員退職慰労引当金繰入額129百万円を特別損失に計上した結果、業績予想を修正することとなりました。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって差異が発生する可能性があります。

以 上